

JHFの監事と東京在住時代から東京都連の監事をしていました監事候補の對馬和也です。

公認会計士として公益法人の会計問題に仕事上関与し、熟知しているつもりです。これからもフライヤー会費収入に見合っただけ資金を配分する運営に切り替えて、フライヤー減少に対応してJHFの財政を均衡化させる必要があります。

現在のJHFは第三者損害賠償保険のテレビ塔衝突等の事故発生による保険金支払いの増加により保険掛金の増大が懸念されます。

プカプカ浮くだけが希望の、下手なパラのP証のサンデーフライヤーとして安全なスカイスポーツの発展を手伝います。

スカイスポーツの発展と維持のためにはメーカーとスクール及び教員は維持しなければなりませんし、スカイスポーツのプロの応援がなければJHFの活動は維持できません。フライヤーの便宜からJPAとの統合が希望です。

一般フライヤーが安全・快適に飛べるフライトエリアの確保と安全を教えてくれる多くの教員の維持・増加が一般会員にとって重要なことと思っています。

現在把握されていませんが、パラ、ハング、動力の会員数を把握して、資金の適正な配分が必要です。

パラとハングが国体に参加できる時代がフライヤーの夢ですので、その土台を着実に築きたいものです。

そのためには、スカイスポーツをPRして、都道府県連とJHFの存在価値を高めなければなりません。